

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025年9月18日(第1版)

承認番号	25119
課題名	糖尿病網膜症に対する硝子体手術後腹臥位に伴う皮膚トラブル予防策検討に向けた実態調査
研究期間	西暦2026年1月7日(実施許可日)～2026年12月31日
研究の対象	硝子体手術の適応がありと診断され、2023年4月1日～2025年3月31日に8階東病棟に入院していた患者さん。その中で糖尿病網膜症と診断された患者さん。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 既往歴、治療歴 <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織(対象臓器等名：) <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他()
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	<p>目的：当院の眼科の硝子体手術の術後に治療の一環として腹臥位という体制減になることがあります。腹臥位を持続的に行うことで皮膚トラブルが発生する事例がありました。そこで発生状況を明らかにするとともに、医療用テープの貼付方法の見直しや体位調整などの皮膚トラブル予防策導入前後における発生状況を比較し、今後の予防策検討をしていきます。</p> <p>意義：糖尿病網膜症の患者さんで腹臥位を要する患者さんは、皮膚脆弱性やテープなどの貼付物影響により皮膚トラブルリスクが高いとされています。</p> <p>8階東病棟では、皮膚トラブル軽減を目的として、医療用テープの貼付方法の見直しや体位調整などの予防策を導入してきました。</p> <p>本研究には、これらの腹臥位に伴う皮膚トラブルの実態および予防策前後における皮膚トラブルの発生状況を明確にすることで、今後の皮膚トラブル予防策の検討、看護ケアの標準化、患者さんのセルフケア向上と安全な看護実践への寄与が期待されると考えています。</p>
研究の方法	<p>診療記録から硝子体手術適応の患者さんを抽出し、その中から腹臥位になった患者さん、さらに糖尿病網膜症患者さんを抽出します。</p> <p>期間は、2023年4月1日～2024年4月30日と2024年5月1日～2025年3月31日での皮膚トラブル予防策導入前後の2期間における腹臥位に伴う皮膚トラブル発生件数および発生率を比較します。なお、研究期間が異なるため、皮膚トラブルの発生率を算出し、期間別に比較することとします。</p>

その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>研究責任者：伊藤準起 旭川医科大学病院 8階東病棟 住所：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話：0166-69-3780（直通）</p>